

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働者福祉・共済](#) | [全労済](#) | [生活保障設計運動の展開について](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[協同組合](#)[労福協](#)[労働金庫](#)[全労済](#)[県生協連](#)[勤労者信用基金協会](#)[年金福祉協会](#)[福祉基金協会](#)[ユニオントラベル](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

生活保障設計運動の展開について

【生活保障設計運動の展開について】

全労済は、経済環境や社会環境の変化を背景に、組合員のこれからの生活を考えるにあたって、単に国や企業・会社にたよるのではなく、組合員一人一人がどのように生きていくか、何が必要かを考え、組合員自らがその設計を行っていかねばならないと考えます。

全労済では、「生活保障設計運動」の提案をすすめています。

（１）生活保障設計運動とは

組合員一人一人が、生活設計（保障計画＋資金計画）に関する知識を高め、自らのライフプランニングにより家計全般を点検・見直し、みんなで「豊かな暮らし」を実現する取り組みを、全労済では「生活保障設計運動」と呼んでいます。

具体的には、協力団体（労働組合など）においてセミナー・説明会・個別相談会を通じて、保障等に関する知識・考え方を組合員の皆さまにお伝えし、ムリ・ムダのない家計作りの支援をすすめています。

（２）生活保障プランナーの養成

職域協力団体（労働組合や共済会）においては、「保障設計運動」が福祉活動の柱として積極展開されています。全労済では、日頃から組合員の個別相談に対応されている方々（労組執行部・福利厚生担当者）を対象に、ライフプランの考え方や関連知識に関する講座を開催し、相談事例などを通じて日頃の活動にその知識を活かしていただくために、2004年から全国で「生活保障プランナー」を養成しています。2004年8月に全国展開がスタートし、静岡県内のプランナー修了者は266団体・922名となっています（2017年5月末現在）。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録**お申し込みはこちらです。**[>>一覧へ戻る](#)

